

第 132 回番組審議会 2026 年 2 月 13 日(金)開催

[出席委員]

井野瀬 久美恵 委員長、高見 孔二 副委員長、
北川 チハル 委員、原 美和 委員、
中西 悠子 委員、龍沢 正之 委員、

[欠席]

橋爪 紳也 委員、松山 秀明 委員

[当社側出席者]

三好 康嗣 常務取締役
田中 信行 編成局長
北本 絢香 制作部員
山下 めぐみ 事務局長
長沢 弥香 事務局員

議事の概要

- 1) 三好常務より、現況の説明。
- 2) 田中編成局長より、2～3月編成について説明。
- 3) 審議の課題番組について、委員からのご意見・ご質問をいただき、それに対して制作側から回答

審議課題

『阪神タイガース 虎道の先へ supported by tabiwa』

[2026年1月25日(日) 13時00分～14時00分放送]

各委員からの主なご意見

評価すべき点

- ・糸井さん、佐藤選手、坂本選手と、この3人のトークがとても軽快で楽しく拝見した。
- ・糸井さんの軽妙な本音トークが両選手の緊張を解きほぐしリラックスさせていて、さらに糸井さんの絶妙なトークにつられるように佐藤選手もご自分の好きなことを言うトーク、キャッチャーらしく冷静で、それでいて面白いトークの坂本選手と、それぞれ3人の信頼関係がトークに表れていてとてもいいキャスティングだった。人選が抜群であった。
- ・公開収録ということで、会場にファンの皆さんがいる中、現役選手ならではのトークやプライベートを垣間見るような話もあり、質問もそれぞれ多様でテンポも良く、会場のファ

ンの皆さんが楽しんでいる様子もうかがえ、あっという間に1時間見終えた。

気になった点

- ・最速でのリーグ優勝後の後、日本シリーズまでの間、こういった風に過ごしたのかなど、もっと質問を掘り下げてもよかったのではないかと、掘り下げて欲しかった。
- ・番組の最初に、この番組がいつどこで何のために行われたイベントなのかについての説明が全くなく、何のために、何を伝えたい番組かといったことがわからなかった。冒頭にその説明を入れるべきではないか。
- ・出演者が、下を見ることが多く、どうしても台本を読んでいるような感じに見えてしまうので、せっかくご自身が本音のトークをされている中で、そういう印象を持たれてしまうのは残念であった。
- ・最後に「六甲おろし」で盛り上がるべきところで、残念ながら盛り上がり欠けていた印象であった。これは例えば壇上の音声マイクの活用であるとか、何かしらの工夫が必要であったのではないかと。

こうした各委員のご意見を弊社制作者とも共有し、今後の番組制作の参考とし、更なる番組の質の向上に努めたいと思います。